

24771 テクノビット 6091

初版作成日：2023/7/5

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：テクノビット6091

製品番号 (SDS NO)：24771

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：日本全薬工業株式会社

住所：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1 丁目 2 番 6 号 駿河台ビル 2F

担当部署：事業開発部

電話番号：03-5282-2483

緊急連絡先電話：024-945-2300(代表)

本製品に関するその他の情報については、別添資料をご参照ください。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 テクノビット 6091 パウダー
供給者 株式会社ニューメタルス エンド ケミカルス コーポレーション
住所 東京都中央区京橋1-2-5京橋TDビル
TEL No. 03-3231-8600
緊急連絡先 03-3231-8600

2. 危険有害性の要約

2.1. GHS分類

物理的・化学的危険性 なし
健康に対する有害性 なし
水生環境に対する有害性 なし

2.2. GHSラベル表示

絵表示



注意喚起語 なし
危険有害性情報 H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。
注意書き P273 環境への放出を避けること。
P501 地域/地方/国内・国際の規則に従って、内容物/容器を廃棄すること。

2.3. その他有害性情報

PBT、vPvB評価結果

- ・PBT: 適用外
- ・vPvB: 適用外

3. 内容物に関する情報

化学物質・混合物の区別 混合物 (成分:メタクリル酸エステル共重合体)

有害物情報

CAS番号	成分	有害性情報	濃度
-------	----	-------	----

94-36-0	過酸化ベンゾイル	自己反応性化学品: 区分B, H241; 有機過酸化物: 区分B, H241 水生環境有害性(急性): 区分1, H400(M=10) 水生環境有害性(長期間): 区分1, H410(M=10) 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分2, H319 皮膚感作性: 区分1, H317	≥0.25-<1%
141-32-2	アクリル酸ブチル	引火性液体: 区分3, H226 急性毒性: 区分4, H332 皮膚腐食性/刺激性: 2, H315 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分2, H319 皮膚感作性: 1, H317 特定標的臓器特性、単回ばく露、気道刺激性: 3, H335 水生環境有害性: 区分3, H412	≥0.1-≤1%

4. 救急処置

4.1. 救急処置

- ・一般 特別な処置の必要なし。
- ・吸引した場合 新鮮な空気を吸い込む。症状が表れ場合には、医師に相談する。
- ・肌に触れた場合 直ちに水と石鹼で洗浄し、よくすすぐ。
皮膚刺激が続く場合には、医師に相談する。
- ・眼に入った場合 流水で数分間洗い、症状が続く場合は医師の診断を受けること。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
- ・誤飲した場合 口内をすすいだ後、十分な量の水を飲む。
症状が継続する場合には、医師に相談する。

4.2. 急性、遅発性の深刻な症状

関連情報なし

4.3. 緊急性のある医学的注意事項及び特別な処置

関連情報なし

5. 火災時の処置

5.1. 消火剤

適した消化剤: 炭酸ガス、粉末消火剤、または水の噴射。規模の大きな火災の際には、水の噴射、または耐アルコール泡消火薬剤を用いる。

5.2. 火災時に発生する可能性のある特殊有害性

可燃性固体。微細な粉塵が空気と混合し、爆発性の混合物を形成する可能性がある。
加熱時や火災時に有毒ガスが発生する可能性がある。

火災等による発生物

- ・一酸化炭素
- ・二酸化炭素

5.3. 消火者の留意事項

- ・保護具 自給式呼吸器を着用すること。
- ・追加情報 なし

6. 漏洩時の処置

6.1. 人についての注意事項

- 人を風上まで遠ざける。
- 防護服を着用する。
- ほこりの発生を避ける。
- 発火源から遠ざける
- 目や皮膚に触れないようにする。

6.2. 環境に対する注意事項

- 下水施設、地表水、地下水への流出を避ける。
- 水スプレージェットでほこりを湿らせます。
- 地面/土壌への流出を避ける。

6.3. 清掃、回収の注意事項

- 機械的に回収する。
- 回収または廃棄するため適切な容器に保管する。
- 法令に従って廃棄する。

6.4. 他章の参照事項

- 安全な取扱い方法については7項を参照。人体の保護に関しては8章を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いに関する注意事項

- 保護具を着用。着用していないものは近づけない。
- 目や皮膚に触れないようにすること。
- 作業場所の換気、排気を良くすること。
- ほこりの形成を防ぐ。
- ほこりは、定期的に取り除く必要がある。
- ほこりが発生した場合は、吸引器を用意する。

・取扱い

- 次のものと混ぜない。
- 還元剤、強塩基、強力な酸化剤、強酸

・爆発・火災防止に関する情報

- 粉塵は空気と結合して爆発性混合物を形成する可能性がある。
- 防爆装置/器具および火花防止道具を使用すること。
- 発火源から隔離すること。禁煙。
- 静電気の蓄積を防ぐ。

7.2. 保管

- 保管室、保管コンテナの条件 密閉容器に入れ、涼しく乾燥した場所で保管。
- 共用の保管設備での保管に関する情報 特になし
- 保管に関する追加情報 冷所に保管する事(25℃以下)

7.3. 特定の最終用途 関連情報なし。

8. 暴露予防及び身体保護に関する注意

8.1. 作業場所で管理が必要な物質

CAS番号	物質名	分類	露出限界
94-36-0	過酸化ベンゾイル	WEL (Work Place Exposure Limit)	長時間 5mg/m ³
141-32-2	アクリル酸ブチル	WEL (Work Place Exposure Limit)	短時間 26mg/m ³ 、5ppm 長時間 5mg/m ³ 、1ppm
		IOELV (Indicative Occupational Exposure Limit Values)	短時間 53mg/m ³ 、10ppm 長時間 11mg/m ³ 、2ppm

•DNELs(Derived No-Effect Level:導出無毒性量)

CAS番号	物質名	曝露経路	曝露条件	限界値
94-36-0	ジベンジルペルオキシド*	経口	ge.pop., l.te, syst.	2 mg/Kg (nd)
		経皮	worker.industr., l.te, syst.	13.3mg/Kg/日 (nd)
		吸入	worker.industr., l.te, syst.	39mg/m3 (nd)
141-32-2	アクリル酸ブチル	吸入	worker.industr., l.te, local	11mg/m3 (nd)

•PNECs(Predicted No Effect Concentration:予測無影響濃度)

CAS番号	物質名	環境コンパートメント	限界値
94-36-0	過酸化ベンゾイル	真水	0.00002 mg/l (nd)
		海水	0.000002 mg/l (nd)
		STP	0.35 mg/l (nd)
		堆積物, 乾燥重量(dw),真水	0.013 mg/Kg (nd)
		堆積物, 乾燥重量(dw),海水	0.001 mg/Kg (nd)
		土壌, 乾燥重量(dw)	0.003 mg/Kg (nd)
141-32-2	アクリル酸ブチル	真水	0.003 mg/l (nd)
		海水	0 mg/l (nd)
		STP	3.5 mg/l (nd)
		堆積物, 乾燥重量(dw),真水	0.034 mg/Kg (nd)
		堆積物, 乾燥重量(dw),海水	0.003 mg/Kg (nd)
		土壌, 乾燥重量(dw)	1 mg/Kg (nd)

追加情報: このリストは基準に従って取り扱う限り有効

8.2. 保護具

一般的保護、衛生標準

ほこり/煙/ミストを吸い込まないこと。

作業中は飲食しないこと。

化学物質の取り扱いには、通常の予防措置を講じる必要がある。

目や皮膚に触れないようにすること。

休憩中や作業終了時に手を洗うこと。

呼吸器の保護 ほこりが発生する場合は、粒子フィルター付きのマスクを使用すること。

手の保護

手袋の素材は不浸透性で耐性がなければならない。

テストをしていない為、製品/材質について手袋の素材を推奨することができない。

浸透時間、拡散速度および劣化を考慮した手袋材料を選択。

適切な状態を確認するには、使用する前に保護手袋を確認すること。

・手袋の材質

手袋の選定にあたっては、材質だけでなくメーカーに応じて異なる品質も考慮する必要がある。製品は複数の材質から構成されており、薬品への耐性を推測することは困難である。従って、実際の用途に合わせて事前にテストを行なう必要がある。

NBR: アクリロニトリル-ブタジエンゴム(0.11 mm)

・浸透時間

手袋の正確な耐久時間は、手袋を製造するメーカーにて導き出す必要がある。

目の保護 保護眼鏡を着用。

身体の保護 軽量保護服を着用。

9. 物理的、化学的特性

9.1 一般情報

・外観

・形 粉末
 ・色 製品の仕様に依存

・臭気 なし

・臭気限界 --

・融点/凝固点 --

・初期沸点/沸点範囲 147°C

・引火性 --

・爆発限界

・下限 --

・上限 --

・発火性 --

・分解温度 --

・SADT(自己促進分解温度)

・pH --

・粘度

・動粘性率 --

・静粘性率 --

・溶解性

・水 溶解しない

・分配係数 --

(n-オクタノール／水)

- ・蒸気圧 ---
- ・密度
 - ・密度 ---
 - ・相対密度 ---
 - ・蒸気密度 ---

9.2. その他情報 関連情報なし

・健康、環境、安全に関する重要な情報

- ・自己発火性 なし
- ・爆発危険性 基本的には爆発しないが、爆発性のある蒸気／空気の混合物が発生する可能性あり。

・状態変化

- ・蒸発率 ---

・物理的危険クラスに関する情報

- ・爆発性 ---
- ・可燃性 ---
- ・エアルゾル ---
- ・酸化性ガス ---
- ・加圧ガス ---
- ・引火性液体 ---
- ・可燃性固体 ---
- ・自己反応性物質および混合物 ---
- ・自然発火性液体 ---
- ・自然発火性固体 ---
- ・自己発熱物質および混合物 ---
- ・水と接触すると可燃性ガスを放出する物質および混合物 ---
- ・酸化性液体 ---
- ・酸化性固体 ---
- ・有機過酸化物 ---
- ・金属腐食性 ---
- ・鈍感な爆発性 ---

10. 安定性および反応性

10.1. 反応性 関連情報なし

10.2. 化学的安定性

- ・回避すべき条件 データシート基準に従って扱う限り特になし。

10.3. 有害反応性情報 粉塵が多量の場合は粉塵爆発の可能性がある。

10.4. 回避すべき条件 熱、炎、火花

10.5. 回避すべき物質 強力な酸化剤、還元剤、強塩基、強酸

10.6. 有害生成物 なし

11. 有害性情報

11.1. 有害性に関する情報

・急性毒性 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない

CAS番号	物質名	曝露経路	判定項目	
94-36-0	過酸化ベンゾイル	経口	LD0	>2000 mg/kg (mouse)
		吸入	LC0/4h	24.3 ppm (rat)
141-32-2	アクリル酸ブチル	経口	LD50	3150 mg/kg (rat)
		吸入	LC50/4h	10.3 mg/l (ATE)

・主な刺激性

- ・皮膚に対する腐食性／刺激性 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
- ・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
- ・気道または皮膚への感作 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
- ・CMR効果
 - ・生殖細胞変異原性 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
 - ・発がん性 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
 - ・繁殖毒性 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
- ・STOT単回曝露 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
- ・STOT反復曝露 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
- ・吸引有害性 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない

12. 環境に関する情報

12.1. 毒性

・水生環境に対する毒性

CAS番号	物質名	判定項目	
94-36-0	過酸化ベンゾイル	EC50/72h	0.042 mg/l (algae)
		EC50/48h	0.11 mg/l (daphnia)
		LC50/96h	0.06 mg/l (fish)
		ErC50/72h	0.071 mg/l (algae)
		NOEC/72h	0.02 mg/l (algae)
		NOEC/96h	0.032 mg/l (fish)
		NOEC/48h	0.076 mg/l (daphnia)
		ErC10	0.001 mg/L /21d (daphnia)
141-32-2	アクリル酸ブチル	EC50/72h	2.65 mg/l (algae)
		EC50/48h	8.2 mg/l (daphnia)
		LC50/96h	5.2 mg/l (fish)
		NOEC/96h	3.8 mg/l (fish)
		NOEC/48h	0.136 mg/l (daphnia)

12.2. 残留性及び分解性

CAS番号	物質名	判定項目	
94-36-0	過酸化ベンゾイル	分解性	71%/28d (OECD 301D)
141-32-2	アクリル酸ブチル	分解性	80-90% /28d (OECD 310)

12.3. 生体内蓄積の可能性 関連情報なし

12.4. 土壌可動性 関連情報なし

12.5. PBT及びvPvB評価結果

- PBT 該当なし
- vPvB 該当なし

12.6. 内分泌かく乱特性 この製品には、内分泌かく乱特性を持つ物質は含まれていない。

12.7. その他の悪影響

- 追加の生態学的情報
 - 一般的な注意事項:
 - 原液または大量の製品を地下水、水域、または下水システムに流さないこと。
 - 製品が地下水、水域または下水システムに到達しないようにすること。

13. 廃棄処分

- 推奨事項 少量であれば対応する物質により硬化させ、関係法規に従って一般ごみとして廃棄することが可能。
- 材料のついた梱包 関係法規に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

14.1. UN番号

ADR、IMDG、IATA UN3077

14.2. UN正式品名

- ADR 3077 環境有害物質、固体、N.O.S. (エチレンジベンゾイル、過酸化ベンゾイル)
- IMDG 環境有害物質、固体、N.O.S. (エチレンジベンゾイル、過酸化ベンゾイル)、海洋汚染物
- IATA 環境有害物質、固体、N.O.S. (エチレンジベンゾイル、過酸化ベンゾイル)

14.3. 輸送有害性クラス

- ADR(陸上輸送)



- クラス 9(M7) その他の有害性物質
- ラベル 9

- IMDG(海上輸送)、IATA(航空輸送)



- クラス 9 その他の有害性物質

・ラベル 9

14.4. 梱包グループ

・ADR,IMDG,IATA III

14.5. 環境有害性

・海洋汚染 あり、シンボル(魚と木)
 ・special marking (ADR) シンボル(魚と木)
 ・special marking (IATA) シンボル(魚と木)

14.6. 使用者の警戒事項 注意:その他の有害性物質

・Kemler番号 90
 ・EMS番号 F-A,S-F
 ・積載カテゴリー A
 ・積載コード SW23 When transported in BK3 bulk container, see 7.6.2.12 and 7.7.3.9.

14.7. Marpol Annex II及びIBCコードに基づく大量輸送 適用外

・輸送に関する追加情報
 ・ADR
 ・数量限定(LQ):5kg
 ・除外数量(EQ):コード E1
 内装の最大正味量:30g
 外装の最大正味量:1000g
 ・輸送カテゴリー 3
 ・トンネル制限コード -
 ・IMDG
 ・数量限定(LQ):5kg
 ・除外数量(EQ):コード E1
 内装の最大正味量:30g
 外装の最大正味量:1000g
 ・UN勧告 UN3077, 環境有害物質, 固体, N.O.S. (エチレンジベンゾイル、過酸化ベンゾイル), 9, III

15. 国内適用法規

・過酸化ベンゾイル
 ・労働安全衛生法
 危険物・爆発性の物 (施行令別表第1第1号) 【1の3 過酸化ベンゾイル】
 表示・通知義務対象物質 (施工令別表第9、政令番号282)
 ・アクリル酸ブチル
 ・労働安全衛生法
 危険物・引火性の物 (施行令別表第1第1号) 【4 アクリル酸ノルマルブチル】

表示・通知義務対象物質(施工令別表第9、政令番号4)

16. 他の情報

製造者: Kulzer GmbH, D-61273 Wehrheim, Germany

上記の情報は現在のデータに基づいたもので、いかなる製品についても保障をするものではなく、法律上の契約等が成立するものではない。